第69回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会

□大会第５日目　　７月　６　日（土）

代表決定戦　仙台市民球場　　２時間　34　分

仙台商業	0	1	0	0	3	2	0	1	2		9
仙台工業	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1

（　　）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【商】	33	5	6	6	0	12	3	9	1	0
【工】	30	2	0	0	0	2	14	4	6	0

（球）小倉　貴仁　（一）毛利　晃　（二）鈴木　裕司　（三）藤村　一也

【商】　楠本,佐々木　―　齋藤

【工】　中村　―　中嶌

▽暴投　佐々木1（商）,中村2（工）　▽捕逸　なし

▽本塁打　なし

▽三塁打　なし

▽二塁打　高島,白鳥（商）　寺本（工）

【評】

代表決定戦第一試合は昨年に続き宮城県代表を狙う第1シード仙台商業と、5年ぶりに東東北大会の出場を目指しノーシードから勝ち上がってきた仙台工業との顔合わせとなった。初回に仙台工業は仙台商業先発楠本の立ち上がりを攻め1点先制。仙台商業も8番白鳥のタイムリーによりすぐさま同点とし、互いに譲らぬ展開で序盤を終える。仙台商業は5回表に四球や安打で出塁したランナーを、9番金野のスクイズや内野ゴロの間にホームに迎え入れ3点を加え、リードを奪う。仙台商業は6回表にも仙台工業の失策の間に2点を加え、着実に差を広げていく。さらに、仙台商業は8回表と9回表にも加点し試合を決定づけた。ここまで強打で勝ち上がってきた仙台工業だが、仙台商業の強力な投手陣を打ち崩せず、仙台商業に軍配が上がった。両校多くの応援団が詰めかけた熱戦を制した仙台商業が昨年度に引き続き宮城県代表として東東北大会への進出を決めた。

代表決定戦　仙台市民球場　　２時間　20　分

東北学院	0	0	0	0	1	1	0	0	4		6
仙台	0	0	0	1	0	1	0	0	0		2

（　　）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【東】	32	7	4	4	3	4	6	6	1	1
【仙】	30	4	2	0	1	6	6	8	5	0

（球）西城　皇祐　（一）菅原　幸　（二）雁部　博昭　（三）千葉　祐介

【東】　佐藤柚,熊谷光　―　根市

【仙】　藤村,新村　―　髙橋

▽暴投　佐藤柚1（東）,新村1（仙）　▽捕逸　なし

▽本塁打　なし

▽三塁打　藤村,吉川（仙）

▽二塁打　新沼,藤村（東）　なし（仙）

【評】

代表決定戦第二試合は3年ぶりの宮城県代表を狙う第3シード東北学院と、第53回大会ぶりの東東北大会の出場を目指す第2シード仙台との顔合わせとなった。序盤は東北学院佐藤柚、仙台藤村の両先発の好投により落ち着いた滑り出しとなった。先制したのは仙台高校。4回裏、四球で出塁したランナーを8番藤村のタイムリースリーベースヒットによりホームに迎え1点を先取。対する東北学院も5回表にすぐさま反撃。7番藤村のタイムリーツーベースにより試合を振り出しに戻した。その後両チーム1点ずつを加えるが互いに譲らず、8回終了時で2対2の同点となった。9回表、東北学院が大きく試合を動かす。四球で出塁したランナーを3塁まで進め5番星のエンドランにより貴重な勝ち越し点を挙げる。その後も安打をかさね9回表に4点を加点した東北学院が試合を決めた。仙台高校の藤村、新村の両投手ともに粘りの投球を継続したが、最後には力尽きた。第69回全国高等学校軟式野球選手権宮城県大会の最終試合を制した東北学院が宮城県代表として東東北大会の進出を決めた。